

奈良県立畝傍高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命（スクール・ミッション）		知・徳・体の調和がとれ、自立的・創造的でグローバルな視野をもった、次代を切り拓くリーダーの育成
教育方針 （スクール・ポリシー）	入学者の受け入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー）	本校では、以下のような生徒を受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解し、自らを鍛える意欲のある生徒 2 基礎的な学力が身につけており、学ぶ意欲の高い生徒 3 自ら学び、自ら考え、自ら行動しようとする姿勢を備えた生徒 4 人間尊重の精神をもち、自らの使命を理解して社会に貢献する意欲のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 （カリキュラム・ポリシー）	本校では、本校の使命（スクール・ミッション）を実現するため、以下のとおり教育課程を編成・実施します。 1 生徒が自らの興味や関心、個性に応じた学びを実現することが可能なカリキュラムを編成します。 2 生徒が物事を俯瞰し多角的に考える習慣や、論理的な思考力を身につけられるよう、探究的な学びを中核とした学校設定科目を開設し、未来志向の教育活動を展開します。 3 生徒が社会のグローバル化の進展に対応できるよう、語学力やプレゼンテーション力等を養う教育プログラムを実施します。 4 開かれた学校として、外部の有識者や研究機関、企業等の協力を得、実社会の課題に即した教育プログラムを実施します。 5 生徒が生涯にわたって健やかな生活を送れるよう、自らの健康・安全を保持する知識・技能や体力を育成します。 6 生徒が協働・自治の精神や規範意識を身につけられるよう、自ら学校行事等の諸活動を企画・運営する機会を創出します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 （グラデュエーション・ポリシー）	本校では、校訓である「至誠、至善、堅忍、力行」の精神を涵養し、以下の資質・能力を身につけた生徒を育成します。 1 心の誠実さ、人としての善良さを、何ものにもまして大切にすることができる。 2 探究心をもち、目標が達成されることを信じて挑戦し、粘り強く努力し続けることができる。 3 グローバルな視野をもち、自らの社会的使命・役割を理解して積極的に行動することができる。 4 高い教養、深い思考、豊かな想像力を身につけ、新しい社会を切り拓こうとする気概をもち。

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	生徒の健康課題（メンタルヘルス）を踏まえた健康教育の充実	保健だより及び電子掲示板を活用したスクールカウンセリングの紹介と啓発 月1回以上
	こころの充実と体力・運動能力の向上	体力テストにおける総合評価 全国平均以上
	望ましい生活習慣の確立	睡眠時間6時間未満の人数の減少
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	各教科での探究型学習の充実	生徒の授業評価での満足度 平均80%以上 エンパワーメントプログラム等への参加者30人以上
	ICTを活用した教育の推進	授業やHRにおけるICT活用率 70%以上 教員の情報活用能力80%以上
	新教科「グローバル探究」の研究・推進	課題研究についての生徒の満足度 70%以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	探究型学習の発展型としての生徒のキャリア意識の醸成	共通テスト平均得点率 70%以上 第1志望を貫く生徒の増加
	企業人や学識経験者による出前講義の充実	出前講義 年10回以上
	キャリア教育の充実	インターンシップ、アカデミック・インターンシップへの参加者20人以上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティースクールの運営	学校運営協議会の開催 年3回
	海外留学や国際交流の促進	海外への留学生（短期も含め） 10人以上
	地域との協働や連携の充実	部活動・家庭クラブを中心とした地域連携活動 年5回以上
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育の充実	人権を確かめあう日の取組 年10回
	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	基本方針の点検・見直し 年1回以上
	教育相談及び特別支援教育の充実	教育相談や特別支援教育に関する職員研修会の開催 年2回